

出願手続依頼書提出後の変更について

進路だよりNo45の再確認です!
一部時間帯の変更があります!

「出願手続依頼書」をもとに出願手続の事務作業を進めますので、中学校への連絡なく、出願する高校（コース等を含め）を変更して願書を提出することは、絶対にしないでください。 ただし、何らかの事情で変更する場合は次のようにになります。

冬休み中の場合（公立、私立とも）

担任の先生か進路係に事前に電話で連絡した上で、出願手続依頼書を受け取り、書き直して、再提出するとともに、新たにWeb出願手続きをしてください。

中学校に来校して相談する場合

1月9日(金) **9:00～11:00**(10:00～12:00から変更)

※事前に電話連絡をお願いします

※Web送信後の出願先変更について

願書提出前（日程的に間に合えば）であれば可能です。
早急に担任（進路係）にご連絡ください。

【注意】 冬休み中は、学校に電話が通じる時間は次のとおりです。
(12/29～1/6は、学校は閉鎖しています。)
平日 → 8:30～16:45 土日祝 → 通じません

公立高校は冬休みの平日に公共の交通機関を利用しての下見をお勧めします！

多くの私立高校は前日の14:00～16:00に下見を実施しますが（受験会場がの学校以外の場合も有）、公立高校は前日の下見は実施しません。そのため、できれば実際の受検の時間帯（朝早く）に公共の交通機関を利用して、校舎の前までの各自で下見しておくことをお勧めします。平日の朝の時間帯は通勤（冬休みは通学はいないと思うけど）の人たちで混雑します。どのバスにどこから乗るかは確認しておきたいところです。

また、下見や検査当日に保護者の送迎の車で高校によっては学校付近は渋滞します。また、校舎付近や近隣の商業施設に駐車することで苦情がくるため、駐車禁止になっている学校もあるので、受験の要領をよく確認しておいてください。

有意義な冬休みを！

いよいよ明日から冬休みです。学習するためには健康であることがとても大切です。頭を働かせるために大切な栄養（食事）、体を適度に動かす（運動）、体を休める（睡眠）を十分に意識して、各自の進路目標にむかって、残り数ヶ月を一生懸命頑張ってほしいと思います。また、次のことを参考にしてしっかりと中学校生活を締めくくって下さい。

①合格の可能性が高いと言われた人

可能性が高いと言われても、100%合格という意味では勿論ありません。あくまでも現在の学力と全体を比較したものです。安心してしまって、学習時間が減ると、合格ラインからすぐ落ちてしまいます。絶対に気を緩めずに、今まで以上の努力をして下さい。

②合格の可能性が五分五分と言われた人

冬休み、他の生徒より多くの学習ができますか？（内容も大事）遊びたい時間を我慢して、学習中心の生活ができない場合は目標達成は厳しいです。残り3ヶ月余りで、今現在の楽しみを取るか、苦しいけど頑張るかで、これから的生活が決まります。学年末テストの勉強も頑張りましょう。

③私立1月受験（単願、専願）する人

学校によって試験内容が異なります。面接のみ、学科試験と面接、学科試験のみ、その上作文も課されるなど様々な内容に対応するよう万全の準備をしてほしいと思います。また、入学後は一般受験で入学した生徒と一緒にになって学習していきます。そのためにも2月、3月に受験する生徒と同じように学習時間も絶対減らさないようにしっかりした生活を送ってください。

④公立自己推薦で受検する人

2月10日（火）の面接試験に向けての準備が必要です。各高校がHPで公表しているスクールポリシーをしっかりと理解し、「入学者の受け入れに関する方針」に自分が合致していることを具体的にアピールし、是非入学したいという気持ちを面接で伝えてほしいです。また、結果によっては再出願で一般受験の可能性もありますので、面接練習だけではなく、学習時間も絶対減らさないようにしっかりした生活を送ってください。

④目標が高いが頑張ることを決意した人

安易にやればできると結論を出した人はいないとは思いますが、人並みの努力では目標を達成させることは難しいと思います。勉強づくしの毎日が絶対条件でしょう。自分にはそんな学習は無理だと思う人は、今すぐ志望校を変更した方が良いかもしれません。ただ、頑張り通せたならば、どのような結果が出ても、これからの自分にとって大きな財産を得ると思います。

⑤悩みながら希望を変更した人

本来の第一希望だったものを、いろいろな条件から考えて別の進路を選んだ人もいます。悔しさや無念さがあると思いますが、それを乗り越えることができれば、大きく成長するはずです。頑張ってください。

冬休みの学習方法（あくまでも例です）

●まずは冬休みの計画を立てる…

次の方法で計画を立てて下さい

- ・休みが全体で何日あるのかを把握する
- ・5教科の中で苦手な教科 得意な教科を選別する
- ・1日の中で3教科を目標に勉強をする
(1教科に3時間以上はかけないこと～入試は1教科50分)
- ・苦手教科→得意教科→苦手教科の順番で勉強をする
- ・間違えた問題は再挑戦できるようにチェックをつけておく
- ・それぞれの教科の勉強時間を平均的に進める(苦手教科だけを1時間、好きな教科を2時間やるはないようにしよう)
- ・教科の変更時には必ず休憩を取る(最短15分、最長でも30分)
- ・必要以上の勉強時間は取らない(1日合計7時間以上勉強しても効果は薄いかも=個人差はある。どうしてもそれ以上を希望する場合は記憶モノを中心に勉強を進めること)

※令和4年度以降、公立高校入試は変更点もあり、難易度が上がっています。過去問を解くことも有効な学習と思われます。